

# 図書館だより 9月

NO.5

さいたま市立大宮東中学校図書館

今年の夏は猛暑が続き、今月に入ってもまだまだ残暑が続いている中、2学期がスタートしました。夏休み中は、どんな本を読みましたか？ドキドキしながら読んだ本、時間をかけて読み切った長編小説・・・など心に残る本と出会うことはできましたか？読書はちょっと苦手・・・という人は、コミックの小説版を読んでみたり、1日5ページまでと決めて読んだりするのもいいですよ。だんだん、陽が短くなってくるのでぜひ、読書をしてください。

## ★ビブリオバトルが行われます！★

ビブリオバトルは、日本全国の大学や、図書館などで「知的書評バトル」として行われています。始まりは、2007年に京都大学の研究員が研究室内で読書推進・文献紹介・知識共有を目指して誕生したそうです。

16日(土)に、東中発表会でビブリオバトルが行われますね。読んだことのない本が色々出てくるので、新たな本との出会いの場でもあります。今年もどんな作品が出てくるのか楽しみです。紹介された本は、図書館に展示します。

2023年上半期芥川賞・直木賞が発表されました！

### 芥川賞

ハンチバック 市川沙央/文藝春秋

重度障害者の井沢 釈華は、10畳の自室からあらゆる言葉を送り出す。釈華の背骨は、右肺を押し潰すかたちで極度に湾曲し、生きれば生きるほど、身体はいびつに壊れていき…。

### 直木賞

木挽町のあだ討ち 永井紗耶子/新潮社

雪の降る夜、芝居小屋のすぐそばで、美しい若衆によるみごとな仇討ちが成し遂げられた。2年後、ある若侍が大事件の顛末を聞きたいと木挽町を訪れる。芝居者たちの話から炙り出される真相は…。

極楽征夷大將軍 垣根涼介/文藝春秋

動乱前夜、北条家の独裁政権が続き鎌倉府の信用は地に落ちていた。足利直義は、怠惰な兄・尊氏を常に励まし、幕府の肅清から足利家を守るうとするが…。足利尊氏の秘密を解き明かす歴史群像劇。

## 国際平和デー(世界停戦日) 9月21日

ピースデーと呼ばれるこの日は、平和に過ごす、特に戦地では一時停戦するなど戦争をしない日です。子どもたちから集められたコインでできた平和の鐘を国連本部ビルで鳴らします。この鐘は日本で作られました。現在でも、ウクライナで戦争が続いています。平和について考えてみませんか。

まいごのねこ ほんとうにあった難民の家族のおはなし

ダグ・カンツ・エイミー・シュローズ 文 野沢佳織 訳

スーコネリンソン 絵

戦争のため、イラクを出ていくことにしたお母さんのスーラと子どもたち。大事なペットである猫のクンクーシュも連れて行くことにしましたが、途中ではぐれてしまい…。実話をもとにした絵本。

### 今月のおすすめの本

この夏の星を見る 辻村深月/KADOKAWA

コロナ禍で登校や部活が制限される中、しかし出会いもあった。オンライン会議を駆使して、全国でつながっていく天文部の中高生たち。「スターキャッチコンテスト」開催の次に彼らが狙うのは…